

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	准教授	氏名	津田 智子
----	-------------	----	-----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

看護の実践方法論としての看護技術、殊に、看護基本技術の開発・教育方法を主な研究分野としている。具体的には、学生との教授－学習過程における効果的な教育方法（主に演習・実習における個別指導）や、看護基本技術の科学性の検証が主な研究テーマである。新卒看護師の看護実践力の低下が叫ばれる中、学生の看護実践力がつき、看護の質が向上するために、科学的根拠にもとづく看護技術を開発し、指導方法や教材開発等を含めた看護技術教育の効果的なあり方とその具体的方法について明らかにしていきたい。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

〈論文〉

- ・中野榮子、安酸史子、佐藤香代、小松啓子、津田智子、岡村真理子、清水夏子、巖紅、原田直樹、金賢実、田恩永、鄭英美、李洪子、金耕園「東洋医療に関する日本と韓国の看護学生の意識調査、『福岡県立大学看護学研究紀要』第8巻1号、2011年。

### ②その他最近の業績

〈調査研究報告書〉

- ・永嶋由理子、湊野由夏、津田智子、加藤法子、藤野靖博、於久比呂美「温度センサーを用いた看護技術のエビデンスの検証：足浴による温熱効果の検証から」、平成19-20年度研究奨励交付金研究成果報告書、107-108、2009年。

〈学会報告〉

- ・Kayo Sato、Tomoko Tsuda、Shizuko Yasukouchi、Tomoaki Shinohe、Sanae Tsuruta、Yoko Setoguchi、Kana Takesue、Emi Matsuura、Masae Oda、Kimiyo Shimomai、Teruyuki Nakayama、Takako Ando、Miyoko Uza、Yoko Sunagawa、Yumiko Endo、Noriko Teruya、Itsuko Shono、Kazuko Muroya、Yasue Yamazumi、Akira Kitagawa、Naomi Komori、Kencho Matsuura、Fumiko Yasukata「Faculty Development Project:Assesment of a “Portfolio Workshop”and Challenges for the Future –An Evaluation of the Caring Island Kyushu-Okinawa Project-」、国際ケアリング学会（広島）、2012年3月
- ・Sanae Tsuruta、Yoko Setoguchi、Kana Takesue、Emi Matsuura、Kayo Sato、Shizuko Yasukouchi、Tomoko Tsuda、Tomoaki Shinohe、Miyoko Uza、Yoko Sunagawa、Yumiko Endo、Noriko Teruya、Masae Oda、Kimiyo Shimomai、Teruyuki Nakayama、Takako Ando、Itsuko Shono、Kazuko Muroya、Yasue Yamazumi、Akira Kitagawa、Kencho Matsuura、Fumiko Yasukata「The benefit of coaching and its future in nursing education –An Evaluation of the Caring Island Kyushu-Okinawa Project-」、国際ケアリング学会（広島）、2012年3月
- ・津田智子、山岸仁美「看護基本技術の修得初期段階における初学者の自己評価の特徴」、第31回日本看護科学学会学術集会（高知）、2011年12月。

〈その他〉

- ・看護師国家試験学習支援ツールの一部解説 (<https://nurse.ouj.ac.jp/pc/index.html>)、放送大学ICT活用・遠隔教育センター（UPO-NET）、2011年。
- ・国家試験対策 e-Learning「N プラス」一部解説 (<http://m-nplus.jp/>)、メデイカ出版、2010年。

### ③過去の主要業績

- ・津田智子、中野榮子、永嶋由理子、瀧野由夏、加藤法子、山名栄子「口腔ケアの学内演習における学生の認識の特徴－学生が記述したプロセスレコードの分析を通して－」、『福岡県立大学看護学研究紀要』第5巻2号、2008年。
- ・津田智子、東サトエ、松崎敏男、山口さおり、松成裕子、柳川育美、宮菌夏美「体温の経時的変化からみた洗髪技術の科学的根拠－サーモグラフィと深部温モニターによる分析－」、『Biomedical THERMOLOGY』第26巻3号、2007年。
- ・松成裕子、宮菌夏美、山口さおり、東サトエ、津田智子、柳川育美、中俣直美、徳久朋子、大野佳子、今村利香、増満誠、兒玉慎平「看護実践能力育成に向けた取り組み－看護技術教育における学内実習・演習の授業内容の精選－」、『鹿児島大学医学部保健学科紀要』第17巻、2007年。
- ・津田智子「看護技術修得の初期段階にある学生の指導過程に関する研究－学内演習の個別指導を通して－」、鹿児島大学医学部保健学科紀要、第15巻、鹿児島大学、2005年。

### 3. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会、看護科学研究学会、日本看護学会、日本サーモロジー学会（評議員） 各会員

### 4. 担当授業科目

〈学部〉

『教養演習・1単位・1年・前期』『基礎看護実習Ⅰ・1単位・1年・前期』『基礎看護技術論・2単位・1年・後期』『看護過程・1単位・2年・前期』『基礎看護実習Ⅱ・2単位・2年・前期』『シンプトンマネジメント論・1単位・2年・後期』『統合実習・2単位・4年・通年』『専門看護学ゼミ・2単位・4年・前期』『卒業研究・2単位・4年・後期』

〈大学院〉

『基礎看護学特論・2単位・1年・前期』『基礎看護学演習・2単位・1年・後期』

### 5. 学外講義・講演

津田智子（2011.12）.看護研究発表講評、鞍手町立病院、福岡県。

### 6. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員